

Koganei
Miyajigakki
Hall

にっぽん、体感。— 古典芸能の祭典

こがねい落語特選 特別編

神田伯山狂言会



講談界の風雲児。

古典の継承者ながら、

次代を拓く。パイオニア六代目神田伯山が送る、

熱く激しい情熱の口演！

2023年

12月8日(金) 開演 18:30 (開場 18:00)

小金井 宮地楽器ホール 大ホール

チケット料金 一般 3,800円、U25席 2,000円 ※25歳以下対象
[こがねいメンバーズ] 3,500円

※車椅子席、介助席は席数に限りがあります。 ※未就学のお子様の入場はご遠慮ください。
※U25席(公演当日25歳以下対象)をご購入の方は、公演当日身分証明書をご提示ください。

発売日	こがねいメンバーズ先行	市内先行抽選 往復ハガキのみ(裏面参照)	一般
	8/12(土) 10:00~	8/1(火)~10(木) 期間内必着	8/19(土) 10:00~
		抽選日: 8/14(月)	

※公演内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



公演詳細はこちら

にっぽん、体感。— 古典芸能の祭典

来場者特典あり! [当日会場で抽選]
※詳細はホームページをご覧ください

チケット取扱い

● 小金井 宮地楽器ホール チケットデスク (当館 2階事務所)
TEL: 042-380-8099 [10:00~19:00 休館日: 第2・3火曜日を除く]

● 小金井 宮地楽器ホール
インターネットチケットサービス
<https://koganei-civic-center.jp>
発売初日はチケットデスク電話、インターネット受付のみ。



主催: 小金井市民交流センター 指定管理者 こがねいしてい共同事業体

※チケット購入はおひとり様2枚まで ※発売初日はチケットデスク電話、インターネット受付のみ ※こがねいメンバーズ先行販売期間中でも予定枚数に達した場合は販売を一時休止いたします

こがねい落語特選チラシ『会の見どころ』ご案内でもお馴染み！
演芸評論家・長井好弘の「講談入門」コラム

「講談」という黄金郷を旅する仲間たちへ

演芸評論家 長井好弘

「演芸の観客」という名の旅人たちよ。あなたは今、講談国の入り口に立っている。一歩足を踏み入れれば、さまざまな冒険が待っているかどうかは定かではないが、個性豊かな講談師、「軍談」「御記録物」「世話物」という心躍る読み物の数々、さらには講談速記中に埋もれた珠玉の古典などがあちこちに隠れている。耳を澄まし、目を凝らし、さあ、講談国で宝探し——。旅の途中に誰もが抱く疑問をまとめてみた。まずは講談の「見た目」についての疑問から。

① 落語と講談はどこが違うのか ② どうして釈台を使うのか ③ 張り扇の役割とは
落語家は座布団の上で喋るだけだが、講談師は釈台を前に置き、張り扇を叩きながら読む。これが両者の最大の相違点だ。講談では軍記などの書物を講釈するため書見台（釈台）が必要だった。張り扇は、それを叩くことで、講談口調のリズムを整える。叩く回数や強弱は、講談師の芸風や好みによってまちまちだ。「一度叩くと十年が過ぎ、二度叩くと二十年、三度叩けば眠っている客が起きる」という珍説もある。次は講談の「中身」だ。

④ 講談を聴く場所 ⑤ 初心者におすすめの読み物は ⑥ 修羅場って何
今は「釈場」と呼ばれる講談専門の寄席はないけれど、講談の会は増えたので容易に見つかる。講談には「初心者向け」という読み物はない。登場人物の大半が歴史上の実在人物なので、「大石内蔵助」「清水次郎長」「宮本武蔵」などの有名人が出てくるものを選べば、親しみが持てる。「次郎長を知らない？」「内蔵助」が読めない？本稿の読者にそういう人はいないかと思いたい。修羅場とは、軍記物の合戦場面のこと。講談特有の美文調で武将の名前や装束を描写するが、初めてだと何を言っているのかわからない。それでも古い日本語の響きとリズムの美しさにうっとりする。修羅場が好きになったら、観客力が一段アップしたと思っしてほしい。最後は、講談全体について。

⑦ 講談師を「先生」と呼ぶのはなぜ ⑧ 女流による講談の評価 ⑨ 講談の魅力とは
⑩ 講談に未来はあるか
元々は「太平記」などの軍記物を大名に「講釈」したので「先生」と呼んだ。「先生、その下駄取って」などと言ってはいけない。女流講談は今や主流派であり、一時は「男性の入門者が来た」というのがニュースになった。性別にこだわる必要はなく、それぞれの特性を生かした良質な講談を作っしてほしい。もの本によると、講談は大正時代から「低迷している」と言われ続けてきた。それが今、当代神田伯山という「スター」の台頭で百数十年ぶりに脚光を浴びている。講談の未来について考え、動き出すのが令和の講談師と観客の責任だ。

《解説》
長井好弘
プロフィール



1955年、東京・深川新大橋生まれ。ジャーナリスト、演芸評論家。都民寄席実行委員長。浅草芸能大賞専門審査員。『僕らは寄席で「お言葉」を見つけた』（東京かわら版）、『新宿末広亭のネタ帳』（アスペクト）、『落語家魂！爆笑派・柳家権太楼の了見』（編著、中央公論新社）など、大衆芸能、寄席演芸に関わる著書多数。好物は鱧の蒲焼き。

予告 こがねい落語特選

新春 昇華爛漫の会

2024年1月28日(日)13時開演
発売日:こがねいメンバーズ 9月9日(土)
一般 9月16日(土)



柳亭市馬



古今亭文菊



柳家わさび



立川小春志

友の会「こがねいメンバーズ」会員募集中 チケット購入時の同時入会可

- 特典1 チケットの先行予約 ※1
- 特典2 チケットの優待価格販売（一部公演を除く）
- 特典3 会員限定イベント
- 特典4 チケット送料、コンビニ取手手数料無料
- 特典5 提携店での各種優待
- 特典6 広報紙や公演チラシ等の郵送
- 特典7 ドリンク割引券プレゼント ※2
- 特典8 施設利用の優待企画
- 特典9 小金井市立「はけの森美術館」入館無料 ※3

★年会費 2,000円
★入会方法 ①インターネット ②窓口 ③郵送
★会員期間 入会日から1年後の同月末日まで
TEL. 042-380-8099 (10:00-19:00)

※1 公演により、販売予定枚数・購入枚数に制限があります。
※2 2023年度大ホールでの主催公演時に使用できます。(4/1時点で会員の方にご郵送)
※3 会員登録提示で本人のみ無料
※友の会特典は、主催公演と一部の共催・協力公演に限ります。

小金井市内先行抽選 応募方法

- 応募資格: 市内在住、在勤、在学の方
- 応募期間: 8/1(火)～8/10(木)期間内必着
- 応募方法: 往復ハガキ(1人1通)
- 抽選日: 8/14(月)

【往信・宛名面】	【返信・宛名面】	【往信・裏面】
〒184-0004 小金井市本町6-14-45 小金井宮地楽器ホール 市内先行チケット係	② ①(お客様の住所) (お客様の)氏名	①公演名・開催日 ②希望座席(一般又はU25)・枚数(2枚まで) ③氏名(ふりがな) ④住所 ⑤電話番号 ※市外在住で市内在勤・在学の方は、勤務先、学校名も明記

■申込可能枚数: おひとりさま2枚まで ■限定30席(応募者多数の場合抽選)
■重複応募や記入事項不備、電話・FAXでの申し込みは無効
■座席はお選びいただけません。
■車椅子席・介助席は席数に限りがあります。ご希望の場合はその旨をご記入ください。
■市内先行は友の会特典(優待価格など)の対象外です。
※ご希望いただきました個人情報は、市内先行抽選ならびに、当落結果送付以外の目的では使用しません。



小金井 宮地楽器ホール

〒184-0004 東京都小金井市本町6-14-45
TEL:042-380-8077(受付時間9:00～22:00)
[休館日] 第2・3火曜日(祝日の場合はその直後の平日)、保守点検日